

## 地域課題と向き合う

### 公民館で猫の飼い方教室

「正しい猫の飼い方教室」(吉田コミュニティ運営協議会主催、高橋正司会長)は7月17日、吉田公民館で開かれ、地域住民19人が受講しました。

猫の飼い方教室は、近所で猫が増えて困っているという苦情が公民館に多く寄せられていたことから、登米保健所食品薬事班の山口麻綾氏を講師に実施。教室では、飼育にかかる費用や野良猫への餌やりによる近隣への悪影響などについて講話。清和田きよ子さん(72)＝米山町狐崎＝は「可哀想でつい餌をあげたくなるが、不幸な猫を増やしてしまうのだと気付かされた。近所で声を掛け合って気を付けていきたい」と意識を新たにしました。



参加者は、近年地域で増えている野良猫との付き合い方について、メモを取るなどしながら学んでいました。

## 感染拡大防止に向け

### 高校生が感染予防具作成

「フェイスシールドの引き渡し式」は7月8日、市役所中田庁舎教育長室で開かれ、登米総合産業高校情報研究部3年の櫻琉晟部長と加藤陸副部長から高橋富男教育長にフェイスシールドが引き渡されました。

フェイスシールドは、情報研究部の生徒が部活動の一環として、学校の3Dプリンターを使い、市が提供した材料に感染防止用のパーツを印刷し作り上げました。加藤副部長は「部活動で学んだ技術を役立てることができて、部員一同とてもうれしい」と喜びを語りました。高橋教育長は「現場からの要望もあり制作をお願いした。感染の予防に活用したい」と話しました。



引き渡された128個のフェイスシールドは、市内の小中学校32校で活用します。

## キャラの秘密に迫る

### 開館20周年の特別企画展

開館20周年記念第62回特別企画展「石ノ森キャラクターデザイン展」が、7月18日から11月23日まで石ノ森章太郎ふるさと記念館で開かれています。

企画展は、作品発表の場を雑誌からテレビへと広げる転機になった「仮面ライダー」のほか、「秘密戦隊ゴレンジャー」、「がんばれロボコン」など8作品に焦点をあて、ラフスケッチやデザイン画、複製原画を公開。オープン初日に訪れた阿部和則さん(52)＝多賀城市＝は「デザイン画などにたくさんの情報が書かれていました。緻密な設定から生まれたキャラクターだからこそ何年たっても色あせないのですね」と驚いていました。



会場いっぱい展示されたイラストや貴重な資料と解説でキャラクターデザインの決定に至る秘密に迫ります。

## ダンス動画で笑顔に

### みんなでパプリカを踊る

「登米市みんなでパプリカを踊ってみた」の動画撮影は7月上旬、市内各所で実施され、登米市を盛り上げた25団体が参加しました。

この企画は、新型コロナウイルスの影響で、祭りやイベントが中止になっている現状を受け、「コロナに負けず、みんなが笑顔になれるものを作ろう」と有志が計画し、「パプリカ」の曲に合わせて市民がダンスする動画を制作しました。参加したダンススタジオGUIDANCEの上畑未夢さん(7)＝中田町境堀＝は「ビデオカメラがあったので少し緊張したけど、みんなと踊って楽しかった」と満面の笑顔をみせました。



動画は7月25日にYouTube「とめチャンネル」で催された「オンライン夏祭りfrom登米」で披露。同局で視聴もできます。

## 市内でレジャー体験

### 長沼ボート場カヌー教室

「令和2年度カヌー教室」(登米市B&Gスポーツ協会主催、山内洋人会長)は7月27日、長沼ボート場で開かれ、小中学生ら15人が参加しました。

カヌー教室では、オール(櫂)の漕ぎ方やカヌーの止め方など基本的な動きを陸上でレクチャー。一通り動きを確認した後、参加者はカヌーに乗り、指導員から教わりながら約1時間半のカヌー体験を楽しみました。石井紅羽さん(11)＝中田町本町畑中＝は「操作が難しく真っすぐ進むのが大変でした。初めて乗りましたが、遠くまで自分の力で行くことができて楽しかった」と、初めてのカヌー体験を笑顔で振り返りました。



初めは不安そうな表情でカヌーに乗って漕ぎ出しましたが、慣れてくるとそれぞれのペースで楽しんでいました。

## 持続的な繁栄を祈る

### 長沼第二団地で初竣工式

「ニッケ機械製作所東北事業所建設に関する竣工式」は7月15日、長沼第二工業団地内の建設地で開かれ、関係者27人が新工場での事業繁栄を祈りました。

ニッケ機械製作所は、兵庫県加古川市に本社を置く、自動車や半導体の部品工場に向けた生産工程を自動化するファクトリーオートメーション事業を展開する企業。新工場では、地元からの雇用を中心に事業を拡大していく予定です。永井一郎代表取締役社長は「東北での事業拡大を見据えて、登米市に工場を建設した。社員一丸となり地域の期待に応えられるよう努力していく」と決意を述べました。



ニッケ機械製作所にとって東北地方初の製造拠点。2017年に分譲を始めた長沼第二工業団地にとっても初の立地企業です。